

第50期（2024年4月期） 決算補足説明資料

ヤーマン株式会社

2024年6月14日

美しくを、変えていく。

美しさを実現するものづくり。

それを生むのは、尽きることのないアイディアと卓越した開発力です。

理想の美しさをかなえ、世界中に夢や驚きを届けるために、

私たちは新しい「美のカタチ」を追求し続けます。

決算の概要

(百万円)	第49期	第50期	対前年	主な増減コメント
売上高	42,996	32,023	△10,972	中国はALPS処理水やRF規制混乱が影響。国内は新カテゴリーの投資先行による販売寄与の遅れ。 売上構成は、美容機器81%・化粧品15%・その他4%
売上総利益 (売上総利益率)	26,147 (60.8%)	19,128 (59.7%)	△7,018	売上総利益率はコロナ禍当初に在庫確保のために仕入れた棚卸資産の一部についての評価損計上の影響で、若干下落。
販売費及び一般管理費	20,012	18,712	△1,299	旗艦店初期費用、USA事業展開拡大、表情金研究所活動拡大により研究開発費増加。国内広告宣伝費投資はより効率重視。
営業利益 (営業利益率)	6,134 (14.3%)	416 (1.3%)	△5,718	中国向け売掛金の一部について、保守的・予防的に貸倒引当金を980百万円計上したが、累計営業利益は黒字を維持
経常利益	5,917	1,010	△4,906	円安による為替差益計上
親会社に帰属する当期純利益	3,913	398	△3,514	
1株当たり当期純利益(円)	71.12	7.24	△63.88	

海外は、ALPS処理水の問題に端を発した日本製品買い控えや、RF規制による市場の混乱などの影響及び中国向け一部の売掛金について、保守的・予防的に貸倒引当金を計上したことにより減益となったが、引き続き中国国内での美顔器トップブランドとしてのポジションを維持。
国内は、シェーバー・ヘアケアといった新カテゴリーや直販部門のリピート施策について、未だ投資が先行し、売上の伸長に寄与できず。

(百万円)	売上高			営業利益		
	49期	50期	対前年	49期	50期	対前年
通販部門	6,666	4,215	△2,451	2,299	911	△1,387
店販部門	7,953	7,473	△480	1,826	994	△831
直販部門	9,922	8,498	△1,423	4,587	2,672	△1,915
海外部門	17,894	11,256	△6,637	6,870	3,067	△3,803
その他	559	580	+21	268	301	+32
調整額※	—	—	—	△9,717	△7,531	+2,186
合計	42,996	32,028	△10,972	6,134	416	△5,718

(百万円)

	23年 4 月末	24年 4 月末	増減		23年 4 月末	24年 4 月末	増減
流動資産	28,566	26,016	△2,550	負債	5,543	3,976	△1,567
現預金	16,146	16,605	+459	仕入債務	1,521	782	△738
売掛債権 貸倒引当金	4,935 —	4,834 △980	△101 △980	有利子負債	1,351	729	△622
棚卸資産	5,132	4,056	△1,075				
固定資産	2,412	3,073	+ 660	純資産	25,435	25,113	△322
総資産	30,979	29,090	△1,889	負債 純資産	30,979	29,090	△1,889
				自己資本 比率	82.1%	86.3%	+4.2pt

(百万円)

	49期	50期	増減	対前期
営業活動による キャッシュ・フロー	986	1,931	+945	税前利益は減少したものの、在庫圧縮による棚卸資産減少等の運転資金の改善、法人税等の支払いの減少により、収入増加
投資活動による キャッシュ・フロー	△632	△ 950	△318	2023年11月に銀座旗艦店オープンによる初期投資、2024年2月のECシステム入替等、前期より積極的に投資したことにより、支出増加
フリーキャッシュ・フロー	354	980	+626	積極的な投資を行ったが、運転資金の改善等により、収入増加
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,223	△ 1,347	△123	設立45周年記念配当の支払いにより、支出増加
現金及び現金同等物増減	△502	459	+962	
現金及び現預金同等物残高	15,691	16,151	+459	

中期経営計画・中期投資計画 の進捗について

美容機器メーカーとして、 日本発の「グローバルブランド・カンパニー」へ

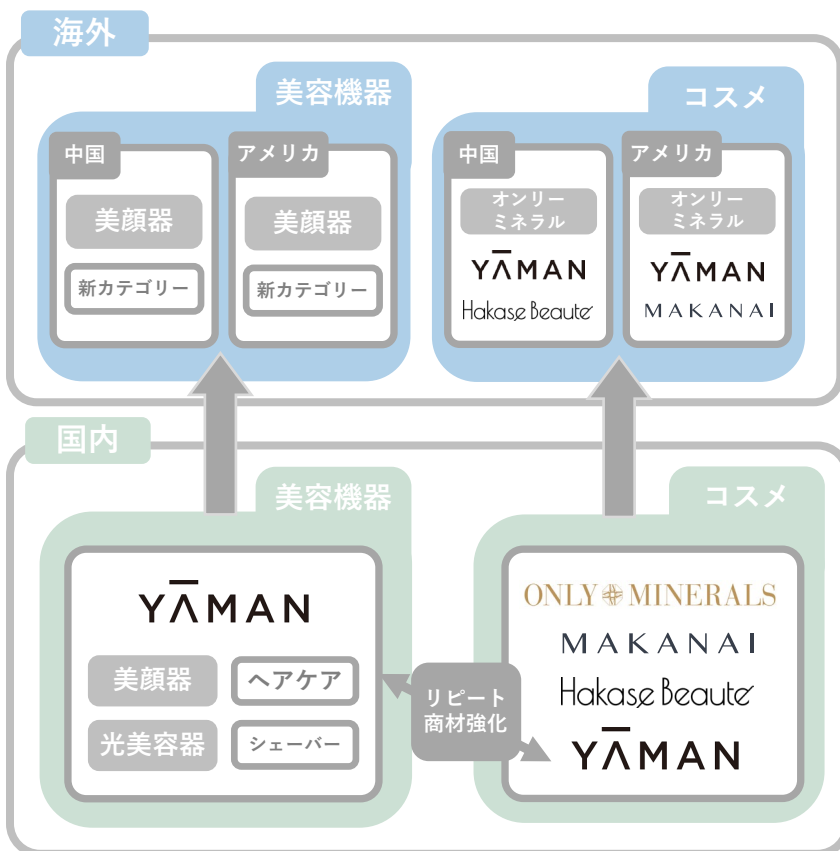
目標達成のための成長投資



中期投資計画

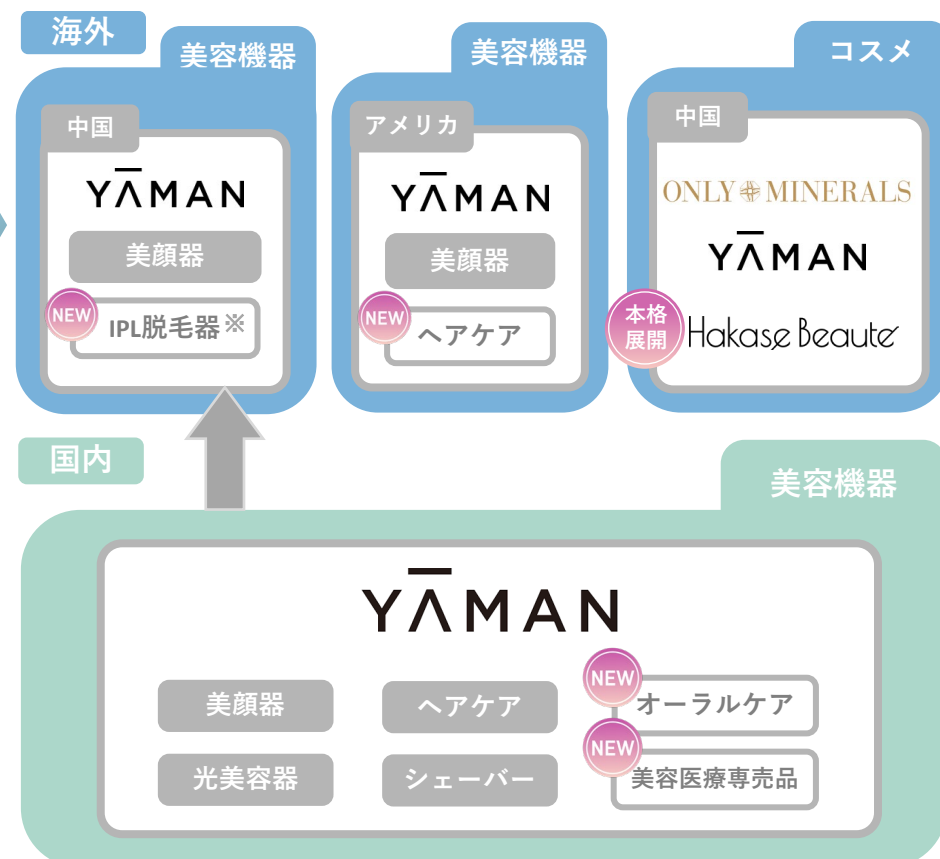
新カテゴリーはまず国内へ展開後、海外へ順次展開を強化していく。

特に新カテゴリーであるヘアケア・シェーバーについては、育成ブランドとして注力していく。



当期の進捗

中国ではIPL脱毛器※の発売開始、HAKASE BEAUTEの本格展開を開始。アメリカでは、ヘアケア製品の販売開始と共にFDA認可取得したメディリフトプラスの販売も強化していく。



中期投資計画

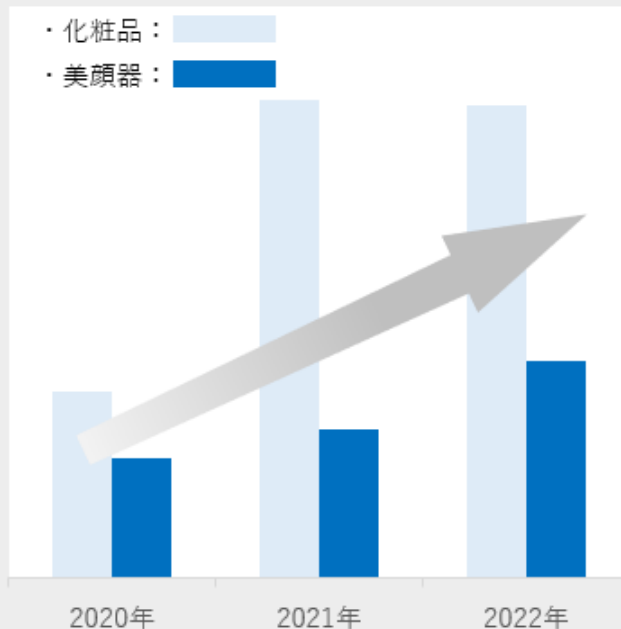
美容機器の性能をより向上させる当社オリジナルの機能性化粧品の拡充を図り、リピート商材販売の基盤を構築していく。

当期の進捗



- ✓ デザインリフト
電極パッドリピートビジネスモデル
定期顧客の売上が、順調に増加

■ 中国市場における美顔器と化粧品の出荷数



- ✓ 国内累計100万個突破のニードルコスメシリーズ
定期継続顧客数が、順調に増加



中期投資計画

大学との共同研究により、当社製品の具体的な有効性と安全性を検証するほか、今後の製品開発につながる独自のメカニズムの解明を目指す。

研究により得られた結果は、論文発表などを通じて美容技術開発に還元し、美容機器業界のさらなる発展につなげる。

表情筋研究所



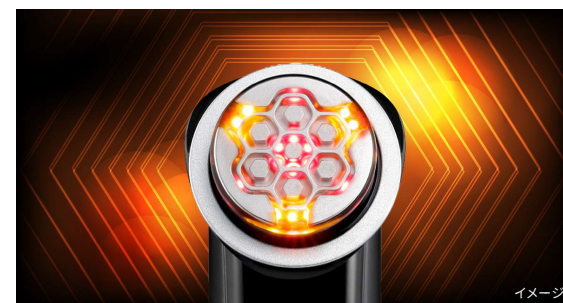
産学連携



当期の進捗

当社研究拠点「表情筋研究所」と東京大学との共同研究の推進と成果

- ✓ 確かな美容技術の確立と立証
論文掲載済3本、論文投稿2本(51期掲載予定)
- ✓ 美顔新技術「CERTEC」の開発
(YA-MAN THE MIYABI発売)



- ✓ 表情筋研究所への投資を強化し、細胞系の研究も開始
 - ・ブルーグリーン光(505nm)の美容効果検証
 - ・電気と熱の掛け合わせによる相乗効果
 - ・新技術を用いた美容遺伝子の発現研究

中期投資計画

美容医療

美容医療の市場規模(医療施設収入高ベース)は、約4,000億円規模に達しており、今後も拡大基調で推移する見通しの有望な新カテゴリー。

美容皮膚科等の医療機関内で使用する「医療機器」に加え、医療機関専売の家庭用美容機器や化粧品の販売も視野に入れる。

美容系クリニックは

全国で約**6,000**院

美容皮膚科 約4,500院

美容外科 約1,500院



オーラルケア

口腔洗浄器を皮切りに、国内・海外ともに伸長しているオーラルケアのカテゴリーに進出。

国内では歯科医院ルートを開拓し、製品ラインナップを強化する。国内での販売実績をもとに、グローバル展開を目指す。

口腔洗浄器：ジェットフロス



直販・新聞
EC・インフォ

家電量販店
デンタルケアコーナー

通販卸
TV通販

歯科

当期の進捗

美容医療

- ・医療機関向け製品第1弾
「ハイドラブライトスキン」を発売開始。

医療機関の販路開拓、製品開発のため
医師とコンサル契約。美容医療機器の
開発着手。

オーラルケア

- ・口腔洗浄器「ジェットフロス」
発売開始

全国家電量販店開拓約700店舗に展開
歯科ルートでの販売チャネルにて展開
開始

中期投資計画

「表情筋研究所」で培った技術や新製品をフェイス・リフト・ジムから発信し、得られた顧客データを蓄積してフィードバックすることにより、さらに技術を進化させる。

2023年中に都内に新店予定のヤーマン初の大型フラッグシップストアにも併設の計画。



当期の進捗

2023年11月に、東京・銀座に旗艦店「YA-MAN THE STORE GINZA」オープン。

2024年1月に、お悩みにあわせて、専門トレーナーが美容機器を使って「美人づくり」をお手伝いする『FACE LIFT GYM』を併設。測定した肌データは『表情筋研究所』へフィードバック。

旗艦店及びフェイス・リフト・ジムの売上は、当初予定を上回る状況。テレビ、雑誌などメディアにも多く取り上げられています。

表情筋研究所

フェイス・
リフト・ジム



中期投資計画

家庭用医療機器・薬事認証取得

【中国】

家庭用医療機器として販売できるようNMPAの認証登録を推進する。

【アメリカ】

美顔器でのFDAの認証登録を推進する。

中国・アメリカ子会社の投資強化

【中国】

ヤーマンのブランド力を活かしたライブコマースなどによる販売を引き続き強化し、新カテゴリーの展開にも取り組む。

【アメリカ】

FDA認証製品・家庭用美容機器を積極的に展開し、欧米市場でのブランド認知度向上を目指す。



当期の進捗

医療機器認証取得

【中国】

- ✓ 2024年4月IPL脱毛器※NMPA認可取得。
今期発売予定※本製品は日本国内では販売しておりません。
- ✓ RF美顔器 NMPA認可申請済。
(51期中に発売予定)
- ✓ オンリーミネラルのリキッドファンデーションとカラーセラムのNMPA認可取得。

【アメリカ】

- ✓ 2023年9月FDA承認品
メディリフトプラス販売開始。
- ✓ 次期美顔器申請準備中。

グローバル投資強化

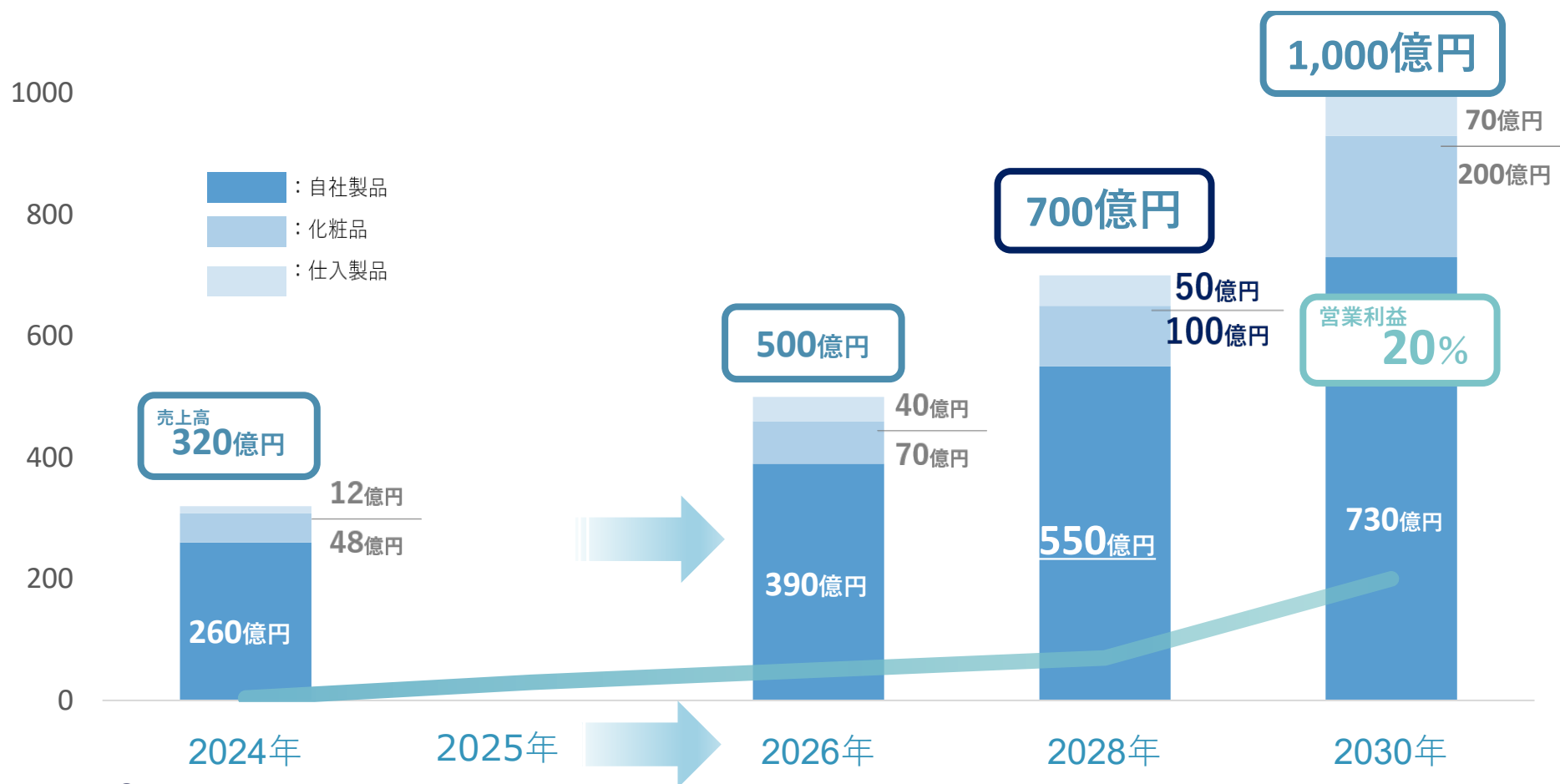
【中国】

- ✓ 2024年1月に雅萌（浙江）電子商務有限公司を設立。
既存の中国代理店販路に加え、当社直接販売を開始。

【アメリカ】

- ✓ ヘアケア製品（ドライヤー・ヘアアイロン）
メディリフトプラス
各種展示会へ出展開始。

中期経営計画で2025年4月期に計画していた売上高500億円の目標は、1年後ろ倒しになる見込みです。なお、2028年4月期での売上高700億円の目標に、変更はございません。



当初2025年4月期売上高500億円の目標を
2026年4月期に1年後ろ倒しした理由

- ・中国において、ALPS処理水の影響、RF規制混乱及び国内経済環境の停滞により、その回復に時間がかかると見込んだため、当初2025年4月期売上高500億円の目標を2026年4月期に1年後ろ倒し。

- ・なお、これらの状況を勘案して、環境変化に対応できる財務耐性を強化するため、今回、中国向け売掛金の一部について、予防的・保守的に貸倒引当金を計上。
(現時点においては、貸倒れや未回収は発生しておりません。)

計画の一部変更に伴う追加施策

グローバル展開の加速

- ・中国市場へのアクセス多様化
(雅萌(浙江)電子商務有限公司設立によるBtoC事業参入)
- ・中国以外の海外市場開拓の加速

国内市場における競争力の強化

- ・新カテゴリ(オーラルケア、美容医療)のラインナップ強化。
- ・ヘルスケア分野への進出検討。

業績及び配当予想

売上高は、350億円で対前期30億円増収の見込み。

営業利益も、25億円で対前期20.8億円増益の見込み。

(50期の貸倒引当金の影響を除いた場合でも、対前期11億円増益の見込み。)

(億円)

	50期 実績	51期 予想	対前期 増減額	増減率	主な増減内容
売上高	320.0	350.0	+30.0	+9.3%	国内：銀座旗艦店での販売増加、新カ テゴリの増販 海外：雅萌（浙江）での販売増加
営業利益	4.2	25.0	+20.8	+500.6%	広告施策見直しによるコスト削減及び 前期計上した棚卸評価損及び貸倒引当 金繰入額の減少
経常利益	10.2	22.0	+10.8	+117.6%	為替差益は減少するものの、営業利益 の増加
当期 純利益	3.9	15.5	+11.6	+289.1%	

今期の期末配当は、2024年3月14日に公表したとおり、1株当たり4.75円とします。
その結果、今期の年間普通配当は1株当たり9.00円となります。
来期の配当予想は、今期と同様、1株当たり9.00円を見込んでいます。
なお、最終的な金額は、通期の業績等を鑑みて決定する方針です。

(円／1株当たり)

	51期 予想	50期 実績
中間配当	4.25	4.25
期末配当	4.75	4.75
年間普通配当計	9.00	9.00

➤配当に関する基本方針

当社は、每期安定的・継続的な配当を原則とし、最終的な金額は、通期の業績等を鑑みて決定する方針です。

株主の皆様の日ごろのご支援にお応えするとともに、当社製品および当社事業へのご理解を深めていただくために株主優待をご用意しております。

従来は、当社直販Webサイト（ヤーマンオンラインストア）のみでご利用いただける**株主優待割引券**を贈呈しておりました。

直販システムの改修により、2024年7月27日から**ヤーマンオンラインストア**だけではなく、**当社旗艦店及び直営店(*)（フェイス・リフト・ジムを含む）**にて、株主優待割引券がご使用できることになりました。

この改善により、株主の皆様には、旗艦店及び直営店にて、弊社製品を直接手に取って、ご利用頂く機会が増えることになります。

なお、株主優待のカテゴリの区分及び内容については、次のページをご参照ください。

***旗艦店及び直営店**は、YA-MAN the store GINZA、なんばスカイオ店となります。

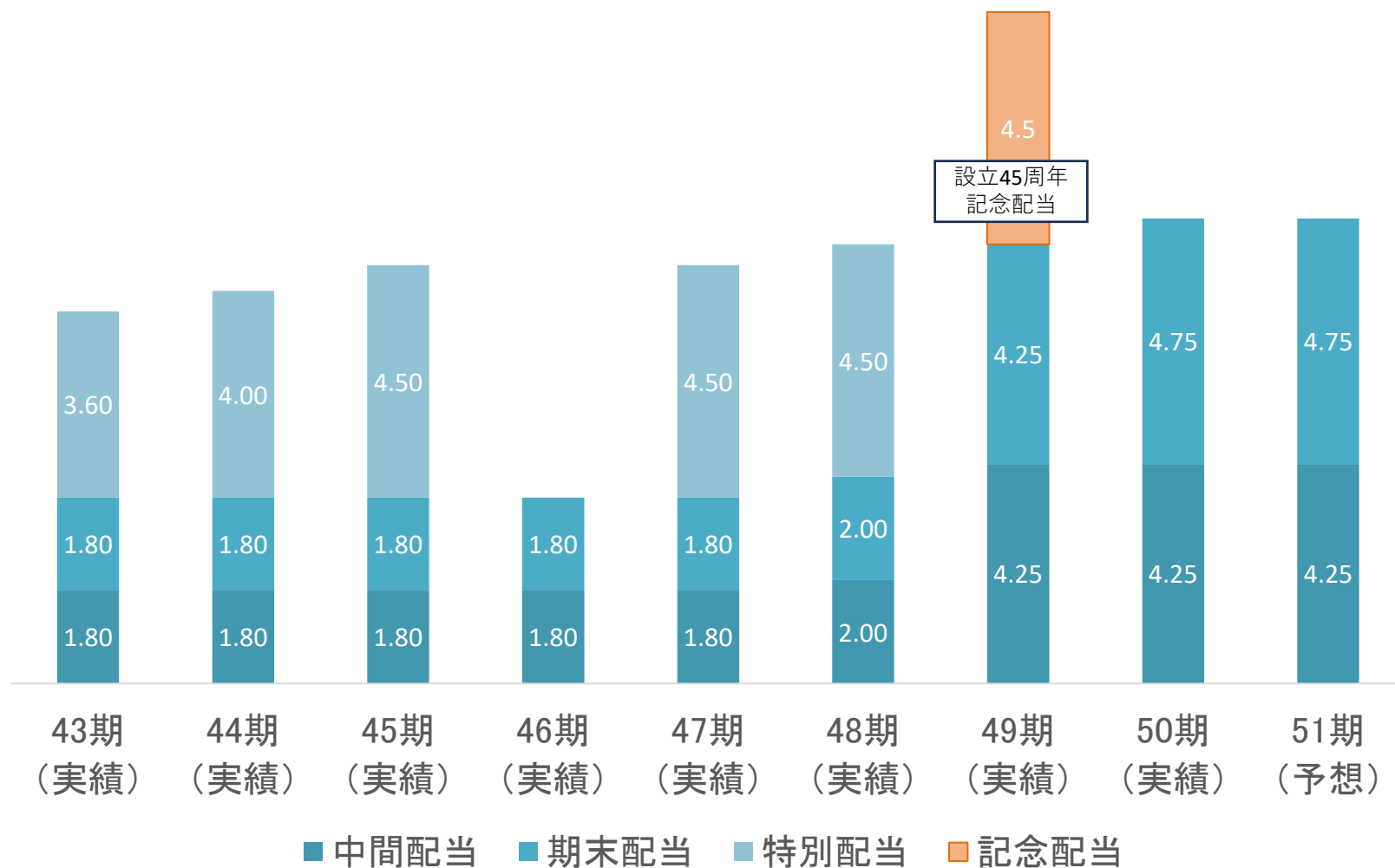
保有株式数	保有期間			
	1 年未満	1 年以上 2 年未満	2 年以上 5 年未満	5 年以上
100 株以上 500 株未満	5,000 円の 株主優待割引券 (1 枚)	7,000 円の 株主優待割引券 (1 枚)	10,000 円の 株主優待割引券 (1 枚)	13,000 円の 株主優待割引券 (1 枚)
500 株以上	14,000 円の 株主優待割引券 (1 枚)	17,000 円の 株主優待割引券 (1 枚)	20,000 円の 株主優待割引券 (1 枚)	23,000 円の 株主優待割引券 (1 枚)

(注) 保有期間とは、該当株式数を取得したことが株主名簿に記載又は記録された日から基準日まで継続して保有した期間を言います。

＊「1年以上」は、2024年4月30日の基準日時点で、該当株式数の保有が毎年10月31日及び4月30日現在の株主名簿に同一株主番号で継続して3回以上記載又は記録されていることが条件となります。

＊「2年以上」は、2024年4月30日の基準日時点で、該当株式数の保有が毎年10月31日及び4月30日現在の株主名簿に同一株主番号で継続して5回以上記載又は記録されていることが条件となります。

＊「5年以上」は、2024年4月30日の基準日時点で、該当株式数の保有が毎年10月31日及び4月30日現在の株主名簿に同一株主番号で継続して11回以上記載又は記録されていることが条件となります。



(注) 上記金額は、2017年11月1日付の株式分割の影響を加味したものです。

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等については、様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料は皆様への情報提供を目的としており、投資を勧誘するものではありません。
- 本資料のご利用にあたっては、利用者の責任によるものとし、情報の誤りや瑕疵、目標数値の変更、その他本資料のご利用の結果生じたいかなる損害についても、当社はその責を負いかねますのでご了承ください。